

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	流山市廃棄物対策審議会運営事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	クリーンセンター			
施策	2-2	環境共生社会を目指す廃棄物循環型都市づくり		主管課長	糸井 正人			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	廃棄物対策審議会委員	意図	一般廃棄物の減量及び適正な処理の推進に関する事項について審議を行い、市長に答申、又は建議する。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物対策審議会の開催 ・ 審議に必要な資料の作成 ・ 議事録等のまとめ 			
事業開始から現在までの状況変化	平成3年の「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の改正により審議会を設置できるようになり、平成6年に本市廃棄物対策審議会を設置した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	廃棄物対策審議会開催回数	5	5	5	回	↑↑↑	
②	廃棄物対策審議会出席委員数	52	52	55	人	↑↑↑		
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ごみの直接搬入の手数料の見直しについての審議を行った。	
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		7,975,400	6,398,400	5,866,400				
事業費(b)(円)		374,400	374,400	374,400				
うち一般財源		374,400	374,400	374,400				
職員給与費(c)(円)		7,601,000	6,024,000	5,492,000				
人役・職員(人)		1.10	0.80	0.80				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	委員の任期満了により新たな委員を選考し、円滑な審議会の運営に努める。	③取組の課題	一般廃棄物処理基本計画の上位計画である環境基本計画の策定を受け、今後一般廃棄物処理基本計画の見直しを行う場合、整合性を図る必要がある。
②今年度(H28)に実施した取組	直接搬入ごみの手数料の見直しについて効率よく審議した。	④今後の改善計画	一般廃棄物処理基本計画の見直しの諮問を受け、これまでの審議踏まえ、答申に向けたスケジュールを検討し実施する必要がある。